

## 第2章 研修概要

### 1. 全体概要

本研修に今年度は地方自治体職員、NPO等の職員20名が参加した。

事前研修は、アウトリーチに係る基礎的な知識・スキルの向上を目的に講義と演習を中心に実施した。そして、実地研修では、各研修生が7か所の受入団体において、2週間、講義、ロールプレイング、アウトリーチの同行等の研修を受講した。事後研修は、本研修の振り返りの中で、学びや気づきを共有し、今後の支援にどう役立て、活かしていくのかを話し合った。

(図表1) 研修参加者所属機関・団体/実地研修先 一覧

No.	研修参加者の所属機関・団体	実地研修研修先
1	特定非営利活動法人 泰山木	調布市こころの健康支援センター
2	特定非営利活動法人 青少年自立援助センター	調布市こころの健康支援センター
3	特定非営利活動法人 フロンティア会	特定非営利活動法人 ピアサポートネットしづや
4	新潟市中央地域保健福祉センター	特定非営利活動法人 ピアサポートネットしづや
5	東京メンタルヘルス株式会社	特定非営利活動法人 ピアサポートネットしづや
6	特定非営利活動法人 オーク	特定非営利活動法人 ピアサポートネットしづや
7	特定非営利活動法人 泰山木	特定非営利活動法人 ピアサポートネットしづや
8	特定非営利活動法人 淡路プラッツ	特定非営利活動法人 NPO スチューデント・ サポート・フェイス
9	特定非営利活動法人 沖縄青少年自立援助センター ちゅらゆい コミュット	特定非営利活動法人 NPO スチューデント・ サポート・フェイス

No.	研修参加者の所属機関・団体	実地研修研修先
10	全引連 KHJ 宮崎県「楠の会」	特定非営利活動法人 NPO スチューデント・ サポート・フェイス
11	特定非営利活動法人 教育サポートセンターNIRE(2名)	特定非営利活動法人 青少年自立援助センター
12	小金井市障害者 地域自立生活支援センター	特定非営利活動法人 青少年自立援助センター
13	一般社団法人 インクルージョンネットよこはま	浜松市精神保健福祉センター
14	特定非営利活動法人 なでしこの会	特定非営利活動法人 青少年自立援助センター 北斗寮
15	特定非営利活動法人 てくてく	特定非営利活動法人 青少年自立援助センター 北斗寮
16	特定非営利活動法人 ふれあい広場タンポポのはら	特定非営利活動法人 リスタート
17	財団法人 札幌市青少年女性活動協会	特定非営利活動法人 リスタート
18	特定非営利活動法人 フリースペース 群生海	特定非営利活動法人 リスタート
19	出雲市教育委員会 出雲市子ども・若者支援センター	特定非営利活動法人 リスタート

## 2. 各研修の実施概要

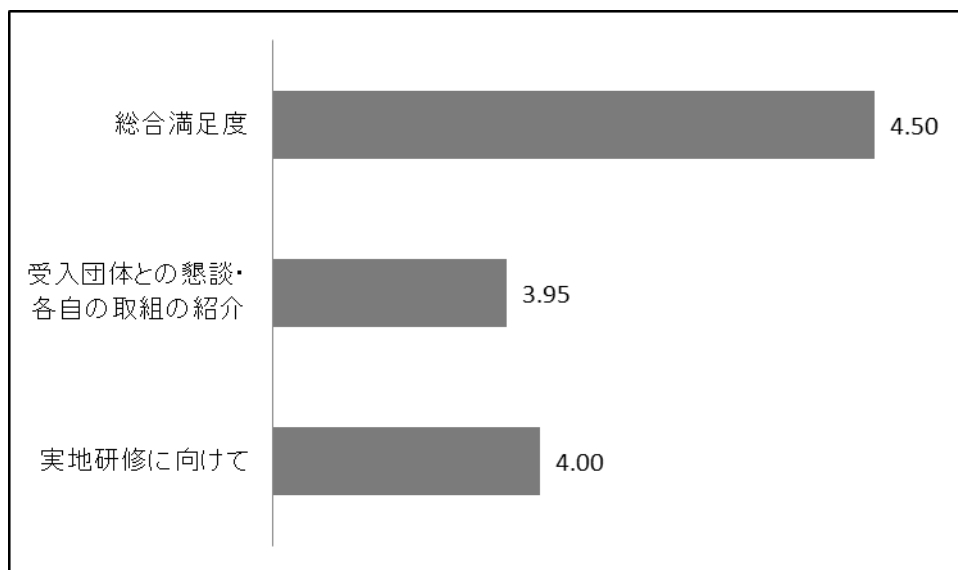
### ア. 事前研修

- ・ 期間：平成 24 年 7 月 23 日（月）～ 27 日（金）（4 泊 5 日）
- ・ 場所：中央合同庁舎 4 号館、東京大学弥生講堂セイホクギャラリー

（図表 2） 事前研修 日程

7月23日(月)	
13:30～	開会の辞
13:40～14:40	実地研修受入団体との懇談
14:50～17:00 全体ワーク①	各自の取組みの紹介(自己紹介含む)
17:00～	事務連絡
7月24日(火)	
9:30～17:00 演習①	「生活・修学・就業支援等における社会資源の活用」 ・公益財団法人日本生産性本部 社会労働部主任研究員 大山雅嗣
7月25日(水)	
9:30～17:00 演習②	「アウトリーチと重層的な支援ネットワークを活用した多面的アプローチ」 ・特定非営利活動法人NPOスチューデント・サポート・フェイス 代表理事 谷口仁史
7月26日(木)	
9:30～17:00 演習③	「『機関誘導型』『関与継続型』のアウトリーチを用いた多面的アプローチ」 ・特定非営利活動法人NPOスチューデント・サポート・フェイス 代表理事 谷口仁史
7月27日(金)	
9:30～10:40 講義①	「ひきこもりケースへの訪問型(アウトリーチ)支援」 ・財団法人 東京都医学総合研究所 心の健康プロジェクト 精神保健看護研究チーム 新村順子
11:00～12:30 全体ワーク②	実地研修に向けて
12:30～	閉会の辞

(図表 3) 事前研修アンケート結果



【事前研修】受入団体との懇談



【事前研修】講義



## イ. 実地研修

- ・ 期間：平成 24 年 8 月～12 月 （図表 4 参照）
- ・ 場所：7 か所の受入団体
- ・ 内容：各受入団体の計画書に基づき、座学・ロールプレイング・アウトリーチへの同行等を当該団体の指定した場所で開催。（図表 5 参照）

（図表 4） 実地研修 受入期間

No.	受入団体名	受入期間
1	浜松市精神保健福祉センター	2 週間
2	調布市こころの健康支援センター	11 日間
3	特定非営利活動法人 ピアサポートネットしづや	2 週間 (2 コース)
4	特定非営利活動法人 青少年自立援助センター	2 週間
5	特定非営利活動法人 青少年自立援助センター 北斗寮	2 週間
6	特定非営利活動法人 リスタート	2 週間 (4 コース)
7	特定非営利活動法人 NPO スチューデント・サポート・フェイス	2 週間 (2 コース)

受入期間には、研修の休日を含む。

(図表5) 実地研修 各受入団体の研修実施概要

受入団体名	浜松市精神保健福祉センター
受入期間	平成24年10月15日(月)～10月26日(金)
受入人数	1名
研修概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ひきこもり相談支援事業所による家庭訪問への同行</li> <li>・ ひきこもり相談支援事業所で行う交流スペースでの利用者支援</li> <li>・ 児童思春期精神科診療所、障害福祉サービス事業所の見学、職員や精神科医との懇談</li> <li>・ 精神科診療所による重度精神障害者への訪問型支援への同行</li> <li>・ 子ども・若者サポートチーム会議への同席</li> <li>・ ひきこもり地域支援センター企画検討委員会・地域若者サポートステーション若年者就労支援協議会へ同席</li> </ul>

受入団体名	調布市こころの健康支援センター
受入期間	8/29・9/5・9/8・9/12・9/20・9/26・10/10・10/18・10/24・10/26・10/28
受入期間	8/29・9/5・9/8・9/12・9/20・9/29・10/10・10/24・10/28・10/31
受入人数	1人
受入人数	1人
研修概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ レクチャー</li> <li>・ SST(連続3回のうち2回)</li> <li>・ デイ事業1回</li> <li>・ 連続プログラム(ステップアッププログラム)5回のうち3回</li> <li>・ 講演会(うつ病)</li> <li>・ 家族支援(父親講座・SST2回)</li> <li>・ 訪問</li> <li>・ 地域とのおまつり</li> <li>・ 就労支援(当事者ミーティング・バーベキュー)</li> </ul>

受入団体名	特定非営利活動法人 ピアサポートネットしづや
受入期間	平成 24 年 9 月 24 日 (月) ~ 10 月 5 日 (金)
受入期間	平成 24 年 10 月 22 日 (月) ~ 11 月 2 日 (金)
受入人数	3 名
受入人数	2 名
研修概要	<p>午前中に「座学」、午後に「実践」を基本として研修を行った。</p> <p>(1) オリエンテーション (当団体について、この研修に期待すること、研修の進め方など)</p> <p>(2) 座学 (当団体の事業の紹介、ピアサポート活動について、学習支援と親サロンの現状と課題、地域で育つ子ども・若者について、連携・協働・ネットワークについて、教育委員会とのケース検討、リフレクションについて等)</p> <p>(3) 実践 (地域活動 春の小川プレーパークの見学、地域活動 原宿ファンインの見学、アウトリーチ支援(13 歳 男子、17 歳 男子、19 歳 男子)、フリースペース)</p> <p>(4) ケース検討とふりかえり</p> <p>ピアサポーター、支援員とのケース検討、教育委員会とのケース検討</p>

受入団体名	特定非営利活動法人 青少年自立援助センター
受入期間	平成 24 年 10 月 15 日（月）～ 10 月 26 日（金）
受入人数	3 名
研修概要	<p>アウトリーチの基礎（座学）</p> <p>就労支援の基礎（座学）</p> <p>生活保護受給者向けのアウトリーチの基礎（座学）</p> <p>アウトリーチ同行</p> <p>利用者の体験談と座談会</p> <p>本部（福生）でのひきこもり利用者への対応現場実習</p> <p>足立サポートステーションでの現場実習並びに講義</p> <p>フリースペースわかばでの現場実習並びに講義</p> <p>文化祭の参加・理事長講演会の参加</p> <p>総括（最終日）</p>

受入団体名	特定非営利活動法人 青少年自立援助センター 北斗寮
受入期間	平成 24 年 11 月 12 日（月）～ 11 月 23 日（金）
受入人数	2 名
研修概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北斗寮（ひきこもり等の若者の生活支援・自立支援）、地域若者サポートステーション（ニート状態で困難を抱えた若者の自立支援）において利用者の対応、プログラム補助、ワークショップ参加</li> <li>・ コミュニケーションセミナー、就職支援セミナー見学・参加</li> <li>・ ひきこもり家族教室 参加</li> <li>・ アウトリーチに関する講義研修、ロールプレイ</li> <li>・ アウトリーチに関するケース検討</li> <li>・ ひきこもり状態の若者の自宅へ同行訪問</li> <li>・ 訪問（事前 / 事後）ケース検討</li> <li>・ 当法人職員との情報交換</li> </ul>



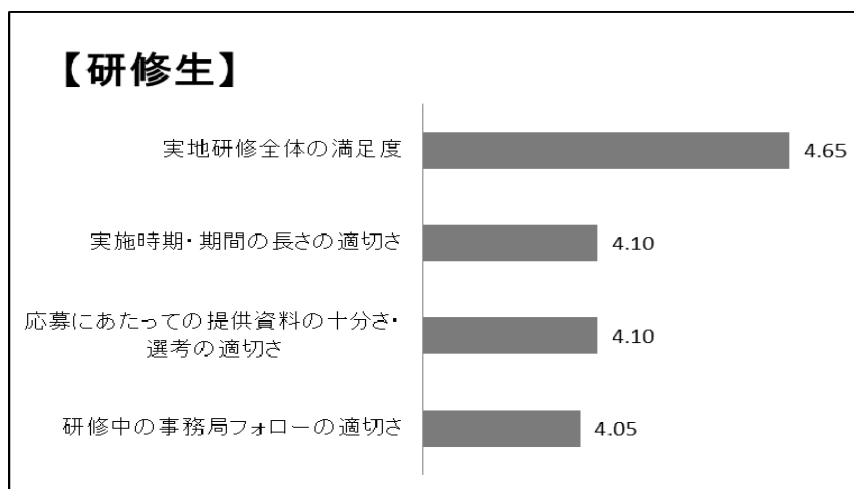
受入団体名	特定非営利活動法人 リスタート
受入期間	平成 24 年 9 月 10 日（月）～9 月 21 日（金）
受入人数	1 名
研修概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リスタートについての組織体制、アウトリーチについての概要等（座学）</li> <li>・ 若者自立支援についての講演会「長岡秀貴氏」ほか（DVD 鑑賞）</li> <li>・ アウトリーチ実施についてのポイント等（座学）</li> <li>・ アウトリーチ活動実施（自宅訪問同行）</li> <li>・ 関連施設等へのアウトリーチ活動（いこいの村・農園・黒島）</li> <li>・ 学校連携の際の連携会議同席（おかやま聾学校）</li> <li>・ サポートステーション、ひきこもり支援センター主催「週間プログラム」への参加</li> <li>・ 週間ミーティング（リスタート）への参加</li> <li>・ 来所面談への同席</li> <li>・ 支援対象者とのフリートーク</li> </ul>

受入団体名	特定非営利活動法人 リスタート
受入期間	平成 24 年 10 月 15 日（月）～10 月 26 日（金）
受入人数	1 名
研修概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リスタートについての組織体制、アウトリーチについての概要等（座学）</li> <li>・ 若者自立支援についての講演会「長岡秀貴氏」ほか（DVD 鑑賞）</li> <li>・ アウトリーチ実施についてのポイント（座学）</li> <li>・ アウトリーチ活動実施（自宅訪問同行）</li> <li>・ 関連施設等へのアウトリーチ活動（いこいの村・農園）</li> <li>・ 学校連携の際の連携会議同行（各）</li> <li>・ 病院連携へのアウトリーチ活動（河田病院）</li> <li>・ サポートステーション、ひきこもり支援センター主催「週間プログラム」への参加</li> <li>・ 週間ミーティング（リスタート）への参加</li> <li>・ 来所面談への同席</li> <li>・ 支援対象者、スタッフとのフリートーク</li> </ul>

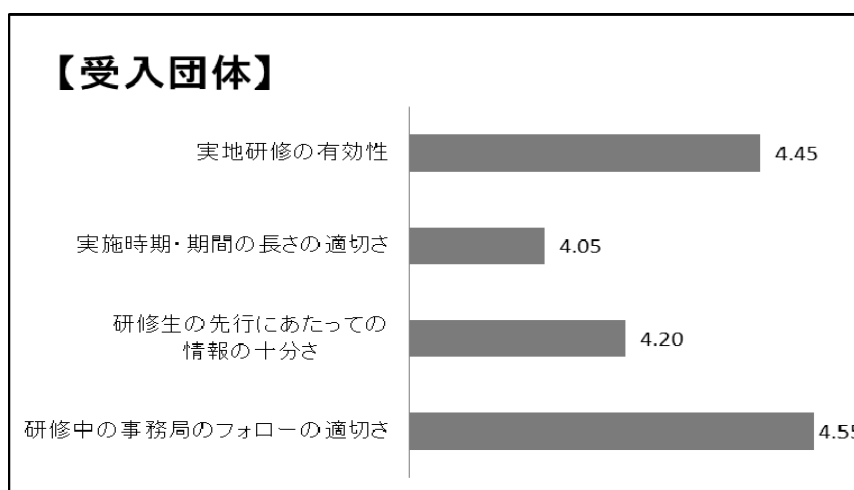
受入団体名	特定非営利活動法人 リスタート
受入期間	平成 24 年 11 月 6 日（火）～11 月 17 日（土）
受入人数	1 名
研修概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リスタートについての組織体制、アウトリーチについての概要等（座学）</li> <li>・ 若者自立支援についての講演会「発達障害における支援・小林信篤氏」ほか（DVD 鑑賞）</li> <li>・ アウトリーチ実施についてのポイント等（座学）</li> <li>・ アウトリーチ活動実施（自宅訪問同行）</li> <li>・ 関連施設へのアウトリーチ活動（いこいの村・農園・レスパール藤が鳴）</li> <li>・ 学校連携の際の連携会議同席（おかやま聾学校）</li> <li>・ サポートステーション、ひきこもり支援センター主催「週間プログラム」への参加</li> <li>・ 週間ミーティング（リスタート・サポステ）への参加</li> <li>・ 来所面談への同席</li> <li>・ 支援対象者とのフリートーク</li> <li>・ 講演会準備等の手伝い、講演会への参加（11 月 17 日工藤啓氏子育てシンポジウム）</li> </ul>

受入団体名	特定非営利活動法 NPO スチューデント・サポート・フェイス
受入期間	平成 24 年 9 月 6 日 (火) ~ 9 月 17 日 (土)
受入人数	2 名
研修概要	<p>保護者面談（模擬）から初回訪問に向けた枠組設定、支援計画の策定、本人同意を取るための事前の働きかけ、家庭での面談、アセスメント、支援の段階的移行、ネットワークの活用方法等、アウトリーチ全般の研修を実施した。特に各研修生および所属団体における「実践」に主眼を置き、個別のカリキュラムに組み替えると共に、研修生のスキル習得状況等から講義形式の研修時間は最小限に留め、支援現場における実地訓練を拡充することでより実践的なプログラム内容となるよう配慮した。また、研修生が対応したケースについて、ケースを担当するスタッフからスーパーバイズを行うことで、今回の研修で得られた経験を臨床の知として生かせるようにした。アウトリーチに関しては、導入レベルから標準レベルまで研修生の特性に応じて、7~10 件（計 33 件）の随行と振り返りを実施することで、現場に求められる実践的能力の育成を図った。</p> <p>さらに、専門スタッフのリアルタイムのフォローの下で、コネクションズ・スペースにおける適応訓練やキャリア開発プログラム（就労体験等）への随行・作業等に臨むことで、事前研修の実践応用に取り組んだ。</p>

(図表6) 実地研修アンケート結果



(図表7) 実地研修アンケート結果



【実地研修】ロールプレイング



【実地研修】ケース検討会

## ウ. 事後研修

- ・ 期間：平成 25 年 2 月 25 日（月）～27 日（水）（2 泊 3 日）
- ・ 場所：国立オリンピック記念青少年総合センター

1 日目は実地研修で経験したこと、学んだことなどを受入団体別に発表してもらい、発表を通じて「良いと思ったこと」「こうすればもっとよいと思ったこと」という 2 つの視点から感想を挙げ、共有を行った。

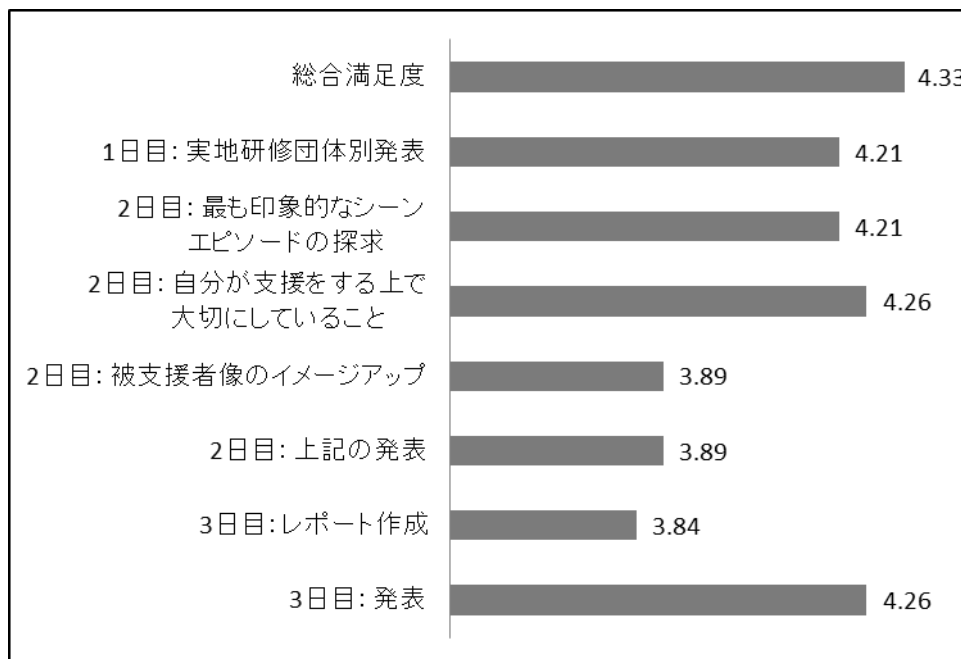
2 日目は研修生が学んだことを活かすため、具体的な支援対象者をイメージしてもらい、グループワーク形式でアウトリーチ支援計画を立てた。

3 日目は研修全体を通じて振り返りを行い、各自が今後身につけたいと思うスキルや取り組みたいことについて発表を行った。

（図表 8） 事後研修 研修日程一覧

日程	時間	講義内容
2 月 27 日	13:30～17:30	・ 各受入団体別発表 ・ 質疑応答 ・ 受入団体別発表に対する感想の共有
2 月 28 日	9:30～17:00	・ 支援者として重要視している価値観を探る ・ 実地研修で感じた最も印象的なシーンやエピソードの探求 ・ 被支援者像のイメージアップ及び支援計画の検討（グループワーク）
2 月 29 日	9:30～11:30	・ レポート作成 ・ 個人発表

(図表 9) 事後研修アンケート結果 満足度



【事後研修】グループワーク